

来 迎 和 讃

松 濤 基 作曲
鈴木 錦 承 振付

準備	蓮の花(約 40 cm)の柄に5色のテープ(約 90 cm)をつけ正座した膝の前におく	
唱え奉る来迎御和讃に		静かに合掌する
歌	手	足
き	「きみようちようらい」は正座合掌のまま	右舞(下手舞)の場合を記す左舞(上手舞)は
		この反対の「運び」となる
み		
よう		
ちよ		
ら		
い		
み	右手にて華をとり柄を親指と掌の間にはさみ	
だ	立てる左手親指と人差し指の間にテープを	左足を僅かくずして静かに立ち
によ	はさみ両手掌を向い合せ肩の巾肩の高さに	
ら	伸す	
い		左足を右足に揃える
(休)		
せ	「せつしゅ」より「光明」までは華をたてた	右足踵を一步に出し同時に左膝を少しまげる
	「によらい」のままで前進する	(体重左足)
		左足で蹴る如くして右足に揃える
しゅ		
ふ		左足踵を一步出し同時に右膝を少しまげる
		(体重右足)
しや		右足で蹴る如くして前に出し左足に揃える
の		

歌	手	足
こ		「せっしゅ」の動作をくり返す
ー		
み		
よう		
ー		
は		「ふーしゃ」の動作をくり返す
ー		
ー		
ー		
ね	左手テープをはずして	同じ要領、但し左足を左へ一步出し右足を
ん		左足に揃える
ず	右手に合掌する	
る		
と	右手の華を左にたおし左手の掌でうけて	同じ要領右足を一步出し左足を右足に揃える
こ	捧げる	
ろ		
を		
て	「ねんずる」の動作をくり返す	「ねんずる」の動作をくり返す
ら		
す		
な		
り	「ところ」の動作をくり返し頭を下げる	左足をひいて左膝をつく(腰を伸す)
ー		
ー		
(休)		

歌	手	足
か	「せっしゅ」の要領にて右手の華を立て左手	左足を斜左へ一歩出し同時に右膝を少し
ん	肩の巾にテープをはさみ体前斜上方に伸す	まげる(体重右足)
の		右足でける如くして左足に揃える(体は斜左)
ん		
せ	左片手合掌右掌を内にして華を斜に保って	右足を一歩下げつつ体重をうつす体は
い	左手の下におく	「ねんずる」の方向
し		
の		
ら	体前斜上方に「かんのん」の動作をくり返す	右足斜右へ一歩出し同時に左足の膝を
い		少しまげる(体重左足)
こ		左足でける如くして右足に揃え体は斜右
う		向きとなる
は	「せいし」の動作をくり返す	左足を一歩さげつつ体重をうつし体は
丨		「せいしの」の方向に向ける
丨		
丨		一動作で出発点の方向に向く
こ	「せいし」の動作をくり返す	「せっしゅ」の動作をくり返す
丨		
え		
を		
た	「せっしゅ」の動作をくり返す	「ふーしゃの」の動作をくり返す
ず		
ね		
て		

歌	手	足
む	「こーえを」の動作をくり返す	「こーみょうは」の動作をくり返す
こ		
ー		
な		
り	「たずねて」の動作をくり返す	右足を一步前に出し
ー		体重をかけると同時に右まわりして最初の
ー		前進方向にむき左足を右足に揃える
(休)		
な	右手華をたてたまま片手合掌し同時に左手	立ったままの姿勢
む	斜左下しつつ	
あ	テープをはずし	
み		
だ	胸の前で合掌する	
ー		
ぶ		
つ		
あ	合掌のまま目の高さにあげ仰いで仏を拝む	
み		
だ		
ぶ		
つ	静かに胸の前におろし	
ー		
ー		
ー		

歌	手	足
な	左手にてテープをはさみ「せっしゅ」の動作	右足をひいて膝をつき
む	をなし	
あ		更に左膝をつく
み		
だ		腰をおろして正座する
ー		
ぶ		
つ		
あ	右手の華を左へ倒し左手にてうけつつ	
み		
だ	静かに下におき	
ぶ		
つ	合掌して	
ー		
ー	頭を下げる	
(休)		

ポイント注意

【らいこう】 方向転換。一動作で出発点の方向を向いてください。

【むこーなりー】 手とテープの位置。合掌の手とテープがまっすぐになるようにしてください。

【なむあみだ】 手を上げる高さ。

ここでのポイントは手は合掌のまま目の高さまでキチンとあげることです。

左足両生の舞間隔を 3 m 以上はなれて立ち、左右反対動作を行なう

来迎和讃足の運び図解

本尊 (卍)

